

令和5年度 教育委員会点検・評価報告書
【令和4年度事業】

令和5年12月
西予市教育委員会

- 目 次 -

はじめに	1
令和4年度(令和3年度事業)学識経験者の意見への対応状況	2
西予市教育振興基本計画(令和2年6月策定)について	3
西予市教育委員会の点検・評価について	5
点検・評価結果	
- 1 教育委員会の活動状況	7
1 教育長及び委員任命状況	7
2 会議開催状況	8
3 委員会議以外の活動状況	9
4 主な活動実績一覧	9
- 2 施策別の点検・評価結果	11
1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧	11
2 施策及び主な取組事業の点検・評価結果	12
重点目標1「生きる力」を育む学校教育の推進	
(1) 確かな学力の育成	12
(3) 健やかな体の育成	16
(5) 特別支援教育の推進	18
(6) 人権・同和教育の推進	20
(9) よりよい教育環境づくりの実現	21
重点目標2 ライフステージに応じた社会教育の推進	
(1) 生涯学習の推進	25
(2) 公民館活動の推進	28
(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	35
(5) 図書館活動の推進	37
重点目標3 人生を豊かにする文化芸術の振興	
(1) 文化財の保護と活用	39
(2) 文化の振興	45
(3) 文化活動の環境と基盤の整備	48
重点目標4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	
(1) スポーツの普及・推進	50
学識経験者の意見及び西予市教育委員会の今後の取組の方向性	53

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）（以下「法律」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、効果的な教育行政に資するとともに住民への説明責任を果たすため、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務付けられました。

また、いじめ問題を契機とした教育委員会の責任所在の不明確さ、危機管理能力の低さなどの課題も指摘されたことから、国においては教育委員会の存続を含めた制度の見直しの議論がなされました。そして、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るための教育委員会制度改革が法律の一部改正により、平成 27 年 4 月から施行されました。

一方、平成18年に改正された教育基本法では、知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間、公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民、わが国の伝統文化を基礎として国際社会を生きる日本人の育成を目指すことが明確にされました。令和 3 年から ICT を活用した「GIGA スクール構想」が始まり、これを踏まえた教育施策の展開も求められております。これを受けて、西予市教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、学校教育及び社会教育の一層の充実を図るため、市総合計画と整合性を図りながら、今後目指すべき教育の基本的方向性や重点的に取り組むべき教育施策を明らかにした「西予市教育振興基本計画」を平成26年 3 月に策定しました。その後、平成27年度に第 2 次市総合計画が策定されたことに伴い、教育委員会では、本基本計画の一部改訂を平成28年 3 月及び令和 2 年 6 月に行っております。

今回、今後のさらなる効果的な教育行政の推進に資するために、学識経験者のご意見等をいただきながら、令和 4 年度に実施した事業について、教育委員会が点検・評価した結果を報告書としてまとめました。ご覧いただき、ご意見・ご要望をお寄せいただくことで、よりよい教育の実現をめざして、取り組みを進めてまいります。

令和 5 年 12 月

西予市教育委員会

令和4年度（令和3年度事業）学識経験者の意見への対応状況

令和3年度事業の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価における学識経験者からいただいた意見等について、令和4年度の西予市教育委員会の対応状況は以下のとおりです。

評価・意見（令和3年度事業）	対応状況 （令和4年度の取組）
1 「生きる力」を育む学校教育の推進	
(1) 確かな学力の育成	評価結果 概ね順調
<p>コロナ禍で事業を実施するタイミングが非常に難しい状況だと思う。ジオパーク推進室と教育委員会と連携して地域学習やジオ学習の推進をお願いしたい。この事業はジオに関するだけでなく、子どもたちの夢を大事にしてほしい。</p> <p>（小学校夢チャレンジサポート事業）</p>	<p>2校を選定し、それぞれの学校で活動を行い、ジオパーク推進室の協力を得ながら西予市ジオサイトの照会資料を作成し、県外で普及活動を行った。選定された2校が集まり交流事業を行った。ジオパーク学習としてジオパーク推進室と連携し、ジオサイトをめぐり発表会や成果物の作成を行った。</p> <p>【担当：教育総務課】</p>
(7) 安全・安心な学校づくりの推進	評価結果 概ね順調
<p>中学校の事業が急遽中止となり、不審者情報メール配信機能を活用し参加者に中止の連絡を行った際に非常に役立った。今後もICTの有効的な活用に取り組んでもらいたい。</p> <p>（不審者情報メール配信事業）</p>	<p>不審者情報については、個人情報配慮しながら児童生徒の安全安心を最優先にした情報発信に取り組んだ。令和5年度より、メール配信システムを変更し、新たな連絡アプリを使用しての情報提供に取り組み、保護者や地域と連携した迅速な対応を行う。</p> <p>【担当：学校教育課】</p>
(9) よりよい教育環境づくりの実現	評価結果 概ね順調
<p>スクールバス運行委託に関して、スクールバスの空き時間の有効活用をお願いしたい。</p> <p>（スクールバス維持管理事業）</p>	<p>通学に支障の無い範囲で学校行事にスクールバスを活用している。スクールバスを所管していない学校でも利用できる体制を整え市内小中学校、幼稚園にて有効に活用している。</p> <p>【担当：教育総務課】</p>
2 ライフステージに応じた社会教育の推進	
(1) 生涯学習の推進	評価結果 順調
<p>今後、西予市として成人式の対象者をどうするのか</p> <p>（成人式開催事業）</p>	<p>引き続き20歳を対象とし、名称も「成人式」を継続する。</p> <p>【担当：生涯学習課】</p>

3 人生を豊かにする文化芸術の振興	
(1) 文化財の保護と活用	評価結果 順調
<p>笠置峠古墳が愛媛県の史跡に指定されたことは嬉しいと思う。古墳の保存、活用に取り組んでもらいたい。また、茅葺き屋根取替作業を高校生や大学生も参加し、文化財の保存伝承、活用に取り組んでもらいたい。</p> <p>(文化財保護推進事業)</p>	<p>笠置峠古墳、小森古墳、ムカイ山古墳の3つの前方後円墳があり、これら貴重な埋蔵文化財を調査し、保存活用に取り組んでいく。茅葺き屋根の茶堂については、今後も様々な方面から協力いただきながら茅葺きワークショップをとおして保存活用に努めていく。</p> <p>【担当：スポーツ・文化課】</p>
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	
(1) スポーツの普及・推進	評価結果 概ね順調
<p>スポーツクラブを活用した地域部活動への考えをお聞かせください。</p> <p>(総合型地域スポーツクラブ補助事業)</p>	<p>休日の中学校部活動を地域に移行する方針で取り組んでいる。地域部活動の指導者は地域の方等を想定しているが、組織的に行うことで理解が得やすいと考え、スポーツクラブ等と連携・協力し、指導者を派遣する取組を考えている。</p> <p>【担当：スポーツ・文化課】</p>

西予市教育振興基本計画（令和2年6月一部改訂）について

1 基本理念

『ふるさとの未来へつなぐ人づくり』

本市の特性を生かし、西予市を誇りに感じ、「ふるさとの未来」を思い、次代を担う「人づくり」を推進します。

2 基本目標

「夢を育み 未来へつなぐ 西予っこ」

「生きる力」の育成を基盤とした学校教育を推進するとともに、学校や家庭、地域が連携・協力し、市の特性を生かした特色ある学校づくりを進めます。また、ふるさとを愛する心を育て、夢多き未来につながる教育に努めます。

「ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと」

市民が生涯現役として、ふるさと西予の歴史・文化やスポーツに親しみ、積極的にまちづくりへ参画できるように、生涯学習の場を充実させて活躍できる場の提供に努めます。

3 重点目標

「生きる力」を育む学校教育の推進

学校・家庭・地域の連携・協力により、児童・生徒に、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けさせ、社会の一員としてたくましく生きていく力を育成します。

ライフステージに応じた社会教育の推進

少子化・高齢化・核家族化が一般化している現代において、家庭・地域・行政が役割を明確にし、市民一人ひとりが自発的に学習し、学んだ成果を社会に還元できる社会（地域）づくりの向上を目指します。

人生を豊かにする文化芸術の振興

市民共有の貴重な財産である歴史、文化、文化財などについて、調査・研究のうえ保護、活用し、市民が文化財に親しむ機会を創出します。また、市民の芸術文化活動を支援し、鑑賞の機会を提供します。

健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

子どもから高齢者まで、年齢、性別、健常者・障がい者の区別なく、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、楽しめるような生涯スポーツ社会の実現を目指します。

4 施策の体系

基本目標：夢を育み 未来へつなぐ 西予っこ

重点目標	施策	事務事業等
1 「生きる力」を育む 学校教育の推進	(1) 確かな学力の育成	学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実 学校・家庭・地域との連携 ICTの活用と情報教育の推進
	(2) 豊かな心の育成	道徳の時間の充実 互いの関わりを大切にされた集団活動の充実 いじめ根絶に向けた取組の充実 情報モラル教育の充実 家庭や地域と連携した活動の充実
	(3) 健やかな体の育成	体力の維持・向上 基本的な生活習慣の定着 学校給食の充実
	(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	特色ある学校づくりの推進
	(5) 特別支援教育の推進	個に応じた学習支援の充実 生活支援員の配置
	(6) 人権・同和教育の推進	人権・同和教育の充実 いじめや不登校への対応
	(7) 安全・安心な学校づくりの推進	防災教育の推進 学校や地域での安全確保の推進
	(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	市所属部会、市教育研究大会の充実 授業力の向上 学校組織の活性化
	(9) よりよい教育環境づくりの実現	小学校の再編推進 放課後の子育て支援

		校舎の改築及びICT設備の整備等 小中連携教育の推進 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度） の推進
--	--	--

基本目標：ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと

重点目標	施策	事務事業等
2 ライフステージに応じた社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	生涯を通じた多様な学習機会の提供
	(2) 公民館活動の推進	地域と連携した公民館活動の充実 社会教育関係団体への支援と連携 西予市結婚推進委員会の取組
	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	青少年健全育成体制の強化 家庭、地域の教育力の向上 国際化・情報化など社会情勢に適應した取組の推進
	(4) 人権・同和教育の推進	学習機会の拡充と啓発活動の充実 人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成 豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実
	(5) 図書館活動の推進	読書活動の普及啓発 図書館サービスの充実
3 人生を豊かにする文化芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	文化財・文化遺産の保護と活用 文化財の継承と次世代を担う人材の育成
	(2) 文化の振興	文化の継承と次世代を担う人材の育成 文化芸術、生活文化の振興
	(3) 文化活動の環境と基盤の整備	文化施設の整備・充実
	(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進	古代ロマンの里構想の推進 西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進 四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進 文化的景観保護推進事業の推進
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	(1) スポーツの普及・推進	生涯スポーツの普及と活動支援 スポーツ施設の整備・充実
	(2) 施設の有効活用とトップアスリート等との交流推進	競技スポーツの振興 関係施設の整備・充実

西予市教育委員会の点検・評価について

1 点検・評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、教育委員会が教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄） （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等） 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。</p>

2 点検・評価の対象、実施期間

(1) 点検・評価の対象

- ・令和4年度における教育委員会の活動状況

・令和4年度における教育委員会の取組施策

(2) 点検・評価の実施期間

令和5年8月～令和5年12月

3 点検・評価の方法

(1) 自己点検・評価

教育委員会主管課が西予市教育振興基本計画に基づく取組を自己点検・評価します。

(2) 学識経験者の意見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会が行った点検・評価結果について、選任する学識経験者3名から評価会議で意見を伺います。

氏名	団体・役職名
中橋 治彦	元公立学校長
岡上 昌造	元市役所職員
大塚 晶司	元社会教育委員長

4 自己点検・評価の構成

(1) 施策の評価(A表)

「施策の体系」の表に示した20の施策毎に施策を構成する事務事業等の実績及び成果等を分析し、取組の成果(進行状況)を次の表1の区分により総合的に評価します。

(表1)

順調	施策の成果が十分にあり、進行状況が順調であると判断されるもの
概ね順調	施策の成果がある程度あり、進行状況が概ね順調であると判断されるもの
やや遅れている	施策の成果があまりなく、進行状況がやや遅れていると判断されるもの
遅れている	施策に成果がなく、進行状況が遅れていると判断されるもの

担当課が2課以上ある場合の評価

評価及び評価に対する分析について協議し、評価を一本化しています。

(2) 主な取組事業の点検・評価(B表)

施策を構成している主な取組事業の内容、実績、評価と今後の課題・対応方向等について分析しています。

(記入項目)

事務事業等	課題解決に設定した具体的な方策。別紙施策の体系を参照
成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組の推進が効果的となるよう設定した指標
取組事業	取組を推進するための事業名
事業内容	取り組む事業の内容
実績	実施した事業の実績等
評価と今後の課題・対応方向	実施した事業の評価と今後の事業を進める上での課題と、その改善点や対応の方向

決算額(千円)	令和4年度の決算額(事業の総額) 千円単位に四捨五入
---------	----------------------------

(3) 成果指標の評価・分析(C表)

成果指標の評価は、20の施策の中で設定した10の成果指標の達成状況を下記表2の区分により評価し分析しています。

(表2)

A: 達成済
B: 概ね達成
C: 未達成
D: 不明

(記入項目)

成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組が効果的となるよう設定した指標名
達成状況	表2の中から、成果指標の達成状況の評価項目を選択
分析・評価	令和4年度の成果指標値について、基準値との比較や社会情勢等を考慮した分析・評価
基準値	西予市教育振興基本計画において、基準とした平成30年度の値
目標値	西予市教育振興基本計画において、目標とする令和5年度の値
実績値	西予市教育振興基本計画における令和4年度時点の値
増減	設定した指標の実績値と基準値の差

点検・評価結果

- 1 教育委員会の活動状況

1 教育長及び委員任命状況

(令和4年6月10日現在)

職	氏名	性別	職業	任期	通算在任年数	役職任期	常勤・非常勤の別
教育長	松川 伸二	男	公務員	R4.6.10 R7.6.9	4		常勤
職務代理者 教育長	酒井 郁子	女	無職	R元.6.10 R5.6.9	4	R4.6.10 ~ R5.6.9	非常勤
委員	梅川 俊一	男	会社役員	R2.6.10 R6.6.9	3		非常勤

委員	木下 弘規	男	農業	R 3 . 6 . 10 R 7 . 6 . 9	2		非常勤
委員	酒井 史朗	男	無職	R 4 . 6 . 10 R 8 . 6 . 9	1		非常勤

教育長の任期は 3 年間

教育委員の任期は 4 年間

教育長職務代理者の任期は 1 年

2 会議開催状況

会議開催数・付議案件数

定例会	12 回
臨時会	2 回
案 件	23 件

会議に付された案件（定例会・臨時会）

月日	案件名
6月28日 定例会	西予市教育支援委員会規則の一部を改正する規則制定について
7月26日 定例会	西予市立学校給食運営委員会及び支部運営委員会規則の改定について
11月24日 定例会	西予市教育委員会の職務権限に属する事務の管理及び執行の特例に関する条例に係る意見聴取について
	西予市公民館条例施行規則を廃止する規則について
12月20日 定例会	西予市通学費補助金交付規則の一部を改正する規則制定について
	西予市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則制定について
	西予市立学校給食センター及び学校給食調理場調理員の給与に関する規則の一部を改正する規則制定について
1月24日 定例会	西予市図書交流館条例施行規則の一部を改正する規則制定について
2月21日 定例会	西予市立視聴覚ライブラリー条例施行規則の一部を改正する規則制定について
	西予市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について
	西予市歴史民俗資料館及び郷土文化保存伝習施設条例施行規則の一部を改正する規則制定について
	西予市宇和文化の里条例施行規則の一部を改正する規則制定について
	西予市伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則の一部を改正する規則制定について

	西予市三瓶文化会館条例施行規則等を廃止する規則制定について
	第二期西予市子ども読書活動推進計画の策定について
	西予市宇和町地域小学校再編計画書の策定について
3月9日 臨時会	西予市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則制定について
	西予市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則制定について
3月28日 定例会	西予市教育委員会公印規則の一部を改正する規則制定について
	西予市教育委員会傍聴規則の一部を改正する規則制定について
	西予市教育委員会通学区域規則の一部を改正する規則制定について
	2023年度西予市教育基本方針の策定について
	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

教育委員会議の公開

西予市教育委員会傍聴規則の規定に基づき、会議は教育長の許可を得て傍聴できます。

・令和4年度 傍聴人 0人

3 委員会議以外の活動状況

教育長及び教育委員は、教育委員会議への出席以外に、市議会、学校訪問の他、各種行事等へ出席しました。（詳細は、4 主な活動実績一覧を参照）

議会関係・・・・・・・・定例会（4回）、臨時会（3回）

学校訪問・・・・・・・・小学校（12校）、中学校（5校）

各種行事・大会・・・・26回

4 主な活動実績一覧

月	教育委員会関係	市議会関係	各種行事・大会	学校訪問
4	定例会（1）		・市新任式 ・市校長会、教頭会、事務長合同研修会	
5	定例会（1）	臨時会（1）	・市中学総合体育大会 ・南予管内市町等教育委員会連合会定期総会	城川小 城川中 惣川小 大野ヶ原小
6	定例会（1）	定例会（1）		田之筋小 石城小 多田小 中川小 野村小 野村中 明浜中 宇和中 宇和町小 皆田小

				明浜小 三瓶中
7	定例会 (1)	臨時会 (1)	・小学校水泳記録会 ・愛媛県市町教育委員会連合会定期総会 ・第27回かまぼこ板の絵展覧会表彰式 ・小学生夢チャレンジサポート事業選定等審査会	三瓶小
8	定例会 (1) 臨時会 (1)		・愛媛県県立学校振興計画地域説明会(八西・西予地区)	
9	定例会 (1)	定例会 (1)		
10	定例会 (1)		・市小学校陸上記録会 ・市中学校新人体育大会 ・宇和町地域学校再編住民説明会 ・第17回西予市教育研究大会 ・第1回市総合教育会議 ・愛媛県公民館研究大会(西予会場)	
11	定例会 (1)	臨時会 (1)	・宇和町地域学校再編住民説明会 ・南予教育を考える集い	
12	定例会 (1)	定例会 (1)	・文科省指定人権教育指定校事業研究発表会	
1	定例会 (1)		・黒松内町中学生受け入れ事業明浜中交流	
2	定例会 (1)		・南予管内市町等教育委員会連合会教育員研修会	
3	臨時会 (1) 定例会 (1)	定例会 (1)	・市内中学校卒業式 ・市内小学校卒業式 ・市校長研修会 ・西予市社会教育委員会 ・小学生夢チャレンジサポート事業検証会 ・市退任式	
合計	臨時会 (2) 定例会 (12)	臨時会 (3) 定例会 (4)	26回	小学校(12) 中学校(5)

- 2 施策別の点検・評価結果

1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧

重点目標	施策	評価	事務事業等	成果指標	達成状況
1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	(1) 確かな学力の育成	概ね順調	学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実		
			学校と家庭、地域との連携		
			I C Tの活用と情報教育の推進		
	(2) 豊かな心の育成	概ね順調	道徳の時間の充実		
			互いの関わりを大切にしたい集団活動の充実		
			いじめ根絶に向けた取組の充実		
			情報モラル教育の充実		
	(3) 健やかな体の育成	概ね順調	体力の維持・向上		
			基本的な生活習慣の定着		
	(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	概ね順調	学校給食の推進		
			特色ある学校づくりの推進		
	(5) 特別支援教育の推進	順調	個に応じた学習支援の充実		
			生活支援員の配置		
(6) 人権・同和教育の推進	概ね順調	人権・同和教育の充実			
		いじめや不登校への対応			
(7) 安全・安心な学校づくりの推進	順調	防災教育の推進			
		学校や地域での安全確保の推進			
(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	概ね順調	市所属部会、市教育研究大会の充実			
		授業力の充実			
		学校組織の活性化			
(9) よりよい教育環境づくりの実現	概ね順調	公立学校の再編推進			
		放課後の子育て支援			
		校舎の改築及びI C T設備の整備等			
		小中連携教育の検討			
		コミュニティ・スクール(学校運営協議基制度)の推進			
2 ライフステージに応じた社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	概ね順調	生涯を通じた多様な学習機会の提供		
	(2) 公民館活動の推進	概ね順調	地域と連携した公民館活動の充実	・公民館運営審議会開催数(平均)	C
			社会教育関係団体への支援と連携		
	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	やや遅れている	西予市結婚推進委員会の取組		
			青少年健全育成体制の強化	・街頭補導回数 ・移動補導センター回数	C C
	(4) 人権・同和教育の推進	概ね順調	家庭、地域の教育力の向上		
国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進					
(5) 図書館活動の推進	概ね順調	学習機会の拡充と啓発活動の充実			
		読書活動の普及啓発	・利用者数(図書を借りた人数)	B	
			豊富な人権感覚を育成する教育・啓発の充実	・利用者数(図書を借りた人数)	B
3 人生を豊かにする文化芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	順調	読書活動の普及啓発	・利用者数(図書を借りた人数)	B
			図書館サービスの充実	・利用者数(図書を借りた人数)	B
	(2) 文化の振興	やや遅れている	読書活動の普及啓発	・利用者数(図書を借りた人数)	B
			文化の継承、次世代を担う人材の育成	・文化祭等参加団体数及び文化会館利用者数	C
	(3) 文化活動の環境と基盤の整備	概ね順調	文化芸術、生活文化の振興	・文化祭等参加団体数及び文化会館利用者数	C
文化活動の環境と基盤の整備			・各施設の入館者数	C	
(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進	概ね順調	文化施設の整備・充実	・各施設の入館者数	C	
		古代ロマンの里構想の推進			
		西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進			
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	概ね順調	四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進			
		文化的景観保護推進事業の推進			
(1) スポーツの普及・推進	概ね順調	生涯スポーツの普及と活動支援			
		スポーツ施設の整備・充実	・社会体育施設年間利用者数	A	
(2) 施設の有効活用とトップアスリート等との交流推進	概ね順調	競技スポーツの振興			
		関係施設の整備・充実			

2 施策及び主な取組事業の点検・評価結果

重点目標 1 「生きる力」を育む学校教育の推進

(A表)

施 策	(1) 確かな学力の育成
評 価	概ね順調
評 価 に 対 析 す る 分	<p>学力向上推進計画に基づいて平成29年度から実施している事業（学び舎事業、学校裁量チャレンジ支援）も認知度も定着し、利用延べ人数も増加し、主体的に学習に取り組む児童生徒の育成に効果を見出すことが出来ている。</p> <p>外国語教育に欠かせないALTは貴重な役割を果たしている。今後も招致を推進し、英語教育の充実に向けて準備を進め各種事業の目的に照らし、国際理解教育の推進やグローバルな視野を養う視点での改善、充実が必要である。また、GIGAスクール構想に基づき、学習用端末を活用した授業が定着している。教職員のICT活用能力を向上させ、端末を有効活用し、さらなる教育の質の向上が必要である。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事 務 事 業 等	① 学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実		
成 果 指 標	設定なし		
担 当 課	教育総務課	決算額（千円）	929
取 組 事 業	小学生夢チャレンジサポート事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市内の小学6年生の学級又は学校（小規模校）に対して夢を募集して、応募された「夢」から実現する夢を選定し、必要に応じて団体等がサポートして児童たちの夢を実現する。</p> <p>【実績】</p> <p>募集対象学校・学級数：12校、16学級 応募学校・学級数、件数：2校、2件 実現した夢：2事業（中川小学校：出発！西予のジオめぐり、城川小学校：学ぼう！楽しもう！ジオパークin Japan） 夢の内容：中川小学校は西予市内のジオサイトに行き、ジオクルーズや大根の収穫などを体験し、西予市の良さを調査することができた。城川小学校は九州のジオサイトを見学し、ジオに関する理解を深めた。また四国西予ジオミュージアムの宣伝活動を行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>令和4年度は、中川小学校と城川小学校の2校が選定された。児童は、夢を実現するために、自らで考え実行するための行動力を身に着けた。今年度は2校が選定されたため、交流会の場を設け、それぞれの児童が学んだことや感じたことを発表し合い、ジオについての理解をより深めることができた。ふるさとの良さを実感する充実した夢を実現することができ、1年間の継続した学びと実践が実現できた。令和5年度は事業を行わず、令和6年度から本事業の問題点等を再点検したうえで、自主性を育むような新事業としたい。</p>		

『小学生夢チャレンジサポート事業活動写真』



【大野ヶ原大根収穫体験(中川小学校)】



【阿蘇ユネスコジオミュージアム(城川小学校)】



【交流会(中川小学校・城川小学校)】

(B表)

事務事業等	① 学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	24,324
取組事業	語学指導外国青年招致事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 JETプログラム指導者5名と委託日本人指導者1名が、小・中学校において、外国語活動や英語授業の補助的指導者となって英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進を図る。</p> <p>【実績】 授業時数は、中学校には週2～4日、小学校には3年生以上の指導で週1～3日程度の勤務体制をとった。各学校長による勤務状況評価によると、6名ともに勤務状況、指導の状況、勤務態度の全てで良好であった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 外国語でのやりとりを通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力等を育成するためには、ALTは貴重な役割を果たしている。令和3年度以降、ALTの人数に変動はなく、安定した配置ができており小学校3年生以上の外国語を中心とした指導体制を整えることができた。今後も継続したALTの招致を推進し、円滑な授業の実践に向けて、対応する予定である。</p>		

(B表)

事務事業等	① 学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	2,089
取組事業	地域子ども学び舎事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学力向上に向けた取組の一環として、市内の児童の希望者に対して学習支援を行う環境を整備する。名称を「学び舎」とし、教員OBを中心とした地域指導者を活用して、毎週土曜日の午前中を基本として学習会を実施する。</p> <p>【実績】 令和4年度は6会場で計190回(令和3年度114回)開講し、延べ1,695人(令和3年度1,429人)の児童が参加した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 「学び舎」の認知度は定着し、令和4年度の登録者数は79人と当初見込みよりやや減少したが、延べ人数は増加するなど、児童にとって充実した学習となっている。地域指導者による個に応じた学習支援は、望ましい学習習慣や主体的に学ぶ態度の育成につながると考える。今後児童が増加を続けるようであれば、指導者の確保が課題である。</p>		

(B表)

事務事業等	③ ICTの活用と情報教育の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	17,121
取組事業	小学校情報教育振興事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>GIGAスクール構想に基づき、小学校の情報教育環境を整備するとともに、教育用コンピュータ及び教育情報ネットワークの維持管理を行う。</p> <p>併せて、ICT機器の研修を行い、教職員のICT活用能力を底上げすることにより、教育の質の向上を図る。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末(ノートPC)1,565台の維持管理 ・モバイルルータ235台の維持管理 ・ネットワーク等の維持管理 <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>平成28年度のタブレット端末等のICT機器導入から6年が経過し、教職員がICT活用能力を習得し、実物投影機やプロジェクターの他、学習用端末を活用した授業が定着してきた。今後は愛媛県ICT教育推進ガイドラインに基づき、教職員のICT活用能力を向上させるとともに、端末を有効に活用することで、さらなる教育の質の向上を図る。</p>		

(B表)

事務事業等	③ ICTの活用と情報教育の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	6,812
取組事業	中学校情報教育振興事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>GIGAスクール構想に基づき、中学校の情報教育環境を整備するとともに、教育用コンピュータ及び教育情報ネットワークの維持管理を行う。</p> <p>併せて、ICT機器の研修を行い、教職員のICT活用能力を底上げすることにより、教育の質の向上を図る。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末(ノートPC)864台の維持管理 ・モバイルルータ115台の維持管理 ・ネットワークの維持管理 <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>平成28年度のタブレット端末等のICT機器導入から6年が経過し、教職員がICT活用能力を習得し、実物投影機やプロジェクターの他、学習用端末を活用した授業が定着してきた。今後は愛媛県ICT教育推進ガイドラインに基づき、教職員のICT活用能力を向上させるとともに、端末を有効に活用することで、さらなる教育の質の向上を図る。</p>		

(A表)

施策	(3) 健やかな体の育成
評価	概ね順調
評価に 対する 分析	健やかな体の育成においては、家庭との連携が重要な要素であり、学校と家庭が相互に連携を深め、基本的な生活習慣の定着にも努めている。また、食事についても、地域食材を活用した安全・安心な学校給食の提供に努め、食育の推進を図っている。

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	③ 学校給食の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	83,344
取組事業	せいよ西学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うとともに、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p>【実績】 学校給食衛生管理基準に基づき衛生管理を徹底し、安全・安心な給食の提供ができた。児童・生徒の希望をとり入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週4回、パン1回の献立を実施した。また、年間を通して市内産食材を積極的に使用して地産地消を推進するとともに、学校と連携した給食センターの社会見学や給食試食会の実施により食育事業を推進することができた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 学校給食衛生管理基準を踏まえ整備した調理施設で適切な衛生管理に努め、安全・安心な学校給食の調理及び提供を行い、児童・生徒の健康増進、体力の向上を図ることができた。今後も、関係機関との連携による地場産物の掘り起しと積極的な使用に努め、地産地消の推進を図るとともに、地場産物を活用した食育活動を継続して展開していきたい。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 学校給食の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	32,081
取組事業	三瓶学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うと共に、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p>【実績】 三瓶学校給食センターの管理運営を円滑に行い、安全・安心な給食の提供ができた。子どもたちの希望をとり入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週4回、パン1回の献立を実施し、地産地消にも配慮したおいしい給食提供ができた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 児童・生徒の健康増進、体力の向上及び給食を通しての食育の推進を行うことができた。児童・生徒の健康面では、体格的にはほぼ全国平均で、健康診断でも特に問題はなく、今後も継続して食育推進、健康の保持増進を図りたい。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 学校給食の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	60,695
取組事業	せいよ東学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒・幼稚園児及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うとともに、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p>【実績】 学校給食法・学校保健安全法の趣旨を踏まえ、せいよ東学校給食センターの管理運営を円滑に行い、児童・生徒・幼稚園児及び教育に関わる職員に対して安全・安心な給食の提供をすることができた。市内事業所の地元産食材を積極的に使用し、地産地消、地元の経済循環にも貢献した。子どもたちの希望をとり入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週4回、パン1回の献立を実施し、納入業者・地産地消に配慮した給食の提供ができた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 学校給食衛生管理基準を踏まえ整備した調理施設で適切な衛生管理に努め、年3回の専門業者による衛生点検を行うことで、更に職員の衛生管理意識を高めた。また安全・安心な学校給食の調理及び提供を行い、児童・生徒の健康増進、体力の向上を図ることができた。今後も、関係機関との連携による地場産物の掘り起しと積極的な使用に努め、地産地消の推進を図るとともに、地場産物を活用した食育活動を継続して展開していきたい。</p>		

(A表)

施策	(5) 特別支援教育の推進
評価	順調
評価に対する分析	<p>発達障がい等のある児童・生徒一人ひとりが、より豊かな学校生活を過ごせるよう、学習環境の整備と就学支援の充実に向け、関係機関で連携を深めながら対応の充実に努めている。</p> <p>また、市内の小・中学校で支援が必要と認める児童・生徒には、生活支援員を配置し、充実した学校生活を送れるよう個に応じた適切な支援に努めている。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	② 生活支援員の配置		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	71,932
取組事業	小学校生活支援員設置事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 発達障がい等のある児童に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。</p> <p>【実績】 小学校10校に36人の生活支援員を配置した。支援を行った児童数は合計59人であった。児童の学校生活の支援や、授業中のノートテイク等の補助、特別支援学級の児童が交流学級で授業を受ける際の支援を、必要に応じてきめ細やかに行なった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 生活支援員が関わることで、困り感のある児童の情緒安定につながっている。また、生活支援員の声かけが、級友の対象児童理解により影響を与えている。適切な支援の結果、生活支援員なしで学校生活を送れるようになった児童もいる。児童のニーズが多様化する中、保護者からの配置希望は年々増加しており、生活支援員の増員を求める声大きい。</p>		

(B表)

事務事業等	② 生活支援員の配置		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	4,489
取組事業	中学校生活支援員設置事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 発達障がい等のある生徒に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。</p> <p>【実績】 中学校1校に2人の生活支援員を配置した。支援した生徒は合計4人であった。生徒の学校生活の支援や、授業中のノートテイク等の補助、特別支援学級の生徒が交流学級で授業を受ける際の支援を、必要に応じてきめ細やかに行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 生活支援員の関わりにより、情緒の安定が図れ、スムーズに学校生活を送ることができている。生活支援員の声かけによって、級友の対象生徒理解にもつながっている。支援に関するニーズが多様化する中、保護者の配置希望に対応できるよう取り組んでいきたい。</p>		

(A表)

施策	策	(6) 人権・同和教育の推進
評価	価	概ね順調
評価に 対する 分析		校内サポートルームが不登校傾向や不登校生徒の安心できる居場所となっていることで、サポートルームに所属する生徒一人ひとりに合ったきめ細やかな対応ができています。宇和中学校校内サポートルームでの取組を市内に広げ、不登校児童生徒の減少につながるよう努めていく必要がある。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	②いじめや不登校への対応		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	1,070
取組事業	不登校児童生徒支援事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 宇和中学校に校内サポートルームの設置を行い、不登校の未然防止および不登校の解消に向けた支援を行う。</p> <p>【実績】 令和4年度は1日平均10人の利用があり、年間のべ総利用人数は2862人であった。サポートルームに所属する生徒一人ひとりに合った対応をきめ細やかに行ったことで、所属していた生徒のうち、2名が教室に復帰、1名が不登校傾向の解消につながっている。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 校内サポートルームが不登校傾向や不登校生徒の安心できる居場所となっている。また、個に応じた対応を心がけているため、所属している生徒の自己肯定感や学習意欲の向上などにつながっている。宇和中学校校内サポートルームでの取組を市内に広げ、不登校児童生徒の減少につながるようしていきたい。</p>		

(A表)

施策	(9) よりよい教育環境づくりの実現
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>現代社会において、子どもたちを取り巻く環境が変化する中で、17校においてコミュニティ・スクールを導入し、学校や子どもが抱える課題を解決するとともに、学校と地域が連携・協働し、地域とともにある学校づくりを進めていくことができている。</p> <p>また、遠距離通学の手段として整備した、スクールバスも順調に運行し、通学に係る教育環境づくりを実施することができている。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	① 小学校の再編推進		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	8
取組事業	学校再編推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>平成21年10月策定の「西予市小学校再編計画」の宇和町内小学校を3校に再編するという計画から1校に再編をする「西予市宇和町地域小学校再編計画書」を策定する。</p> <p>【再編計画の主な内容】</p> <p>① 1校に再編する。 ② 新たな小学校が開校する方針 ③ 再編校の施設(宇和町小学校の校地・校舎を活用する。) ④ 再編の時期(令和14年度あたりを目途とする。) ⑤ 再編の手順(一斉に1校に再編することを基本とする。 ただし、再編時期を待たずして再編要望があれば、先行し一部再編を実施する。) ⑥ 令和9年度に再編年度を西予市並びに教育委員会で協議する。</p> <p>【実績】</p> <p>市内6校区において、地域住民説明会の開催と合わせてパブリックコメントの募集を行った。</p> <p>【住民説明会参加者】 10月11日：皆田小校区28人、10月13日：田之筋小校区24人、10月18日：石城小校区17人、10月19日：中川小校区17人、10月27日：多田小校区17人、10月31日：宇和町小校区31人、11月6日：全校区対象9人、合計143人の参加者があった。</p> <p>【パブリックコメント】 募集期間：令和4年10月11日～11月14日まで 意見提出者：郵送1人、ファックス1人、電子メール3人、直接書面提出(自由意見)43名、合計48人から提出があった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>答申書及び地域住民説明会・パブリックコメントの意見、提案を参考に審議を重ね小学校再編計画書を策定することができた。 今後、本計画を基本としつつ、国の学校教育の動向や社会情勢等も注視しながら、保護者や地域住民と話し合いを重ね、地域と学校及び行政は三位一体となってより良い学校再編を目指す。</p>		

(B表)

事務事業等	① 小学校の再編推進		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	116,895
取組事業	スクールバス維持管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>学校再編に伴い遠距離通学となった児童生徒の登下校時の安全を確保するためにスクールバスを運行する。また、登下校以外の空き時間を利用して、校外学習の送迎など臨時で運行する。 市所有スクールバス22台、民間車輛1台の全23台 ○明浜小：2台 ○明浜中：1台 ○野村小：7台 ○野村中：1台 ○城川小：4台 ○城川中：3台 ○三瓶小：2台 ○三瓶中：2台 ○皆田小：1台</p> <p>【実績】</p> <p>令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症流行下であったが、遠距離通学となる児童・生徒が安心・安全に登下校できるよう感染症対策を講じた上で、順調なスクールバスの運行ができた。また、より良い教育環境の整備を目的に校外学習や各種教育活動・学体各種大会等の移動手段としてスクールバスの臨時運行も実施した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>学校再編から一定期間が経ち、スクールバスの運行も定着してきたため、年間を通して適切な運行ができている。しかし、再編当初に比べると児童生徒数が減少していることもあり、バス車輛の大きさや運行経路等について、再度見直しが必要な時期も来ている。小中の混乗も検討する必要があるが、下校時刻の調整など課題が多い。 また、車輛についても経年劣化が見られ修理の回数や箇所が増えており、適切な維持管理に努めなければならない。 運行委託に関しては、毎年事故等が発生していることから、委託業者へ安全運転の指導を徹底していく必要がある。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 校舎の改築及びICT設備の整備等		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	37,890
取組事業	小学校施設整備事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 児童の学習及び生活の場として、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切な状態で施設を維持するため、施設の整備、改修等を行う。</p> <p>【実績】 宇和町小学校トイレ洋式化工事を実施した。 (洋式便器33基) 中川小学校及び皆田小学校の屋内運動場劣化改修工事設計業務を実施した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 予定どおり工事は完了し、教育環境の向上を図ることができた。 令和5年度は中川小学校及び皆田小学校の屋内運動場改修工事の完了に務める。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 校舎の改築及びICT設備の整備等		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	172,925
取組事業	中学校施設整備事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 生徒の学習及び生活の場として、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切な状態で施設を維持するため、施設の整備、改修等を行う。</p> <p>【実績】 野村中学校校舎のうち管理棟、普通教室棟、特別教室棟、渡り廊下棟の外壁全面改修及び管理棟、普通教室棟、渡り廊下棟の屋上防水工事、管理棟、普通教室棟、特別教室棟の塗装改修工事を実施した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 予定どおり工事は完了し、教育環境の向上を図ることができた。 今後の課題としては、老朽化している施設も多数存在するため計画的に改修等を行う。</p>		

(B表)

事務事業等	⑤ コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	316
取組事業	コミュニティ・スクール推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 市内全ての小・中学校に、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入することにより、学校や子どもが抱える課題を解決するとともに、地域を担う人材育成のために学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子どもの成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進めるものである。</p> <p>【実績】 導入学校数：17校（明浜小学校、多田小学校、中川小学校、石城小学校、宇和町小学校、田之筋小学校、皆田小学校、野村小学校、惣川小学校、大野ヶ原小学校、城川小学校、三瓶小学校、明浜中学校、宇和中学校、野村中学校、城川中学校、三瓶中学校）</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 当初の計画どおり、小学校12校、中学校5校において学校運営協議会を設置し、すべての小中学校にコミュニティ・スクールを導入した。これにより、これまで以上に、学校と地域が連携・協働し、学校運営に関する協議を行ったり、学校教育における地域との連携活動を進めることができた。 今後は、充実した学校運営を行うとともに、各地域づくり活動センターも活用しながら、地域との連携強化を図っていくものである。</p>		

重点目標 2 ライフステージに応じた社会教育の推進

(A表)

施策	(1) 生涯学習の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>生涯学習社会の構築と魅力ある地域づくり・人づくりの実現に向け、社会教育委員会等で生涯学習事業についての協議・意見交換を行い、ライフステージに応じて主体的に学習できる場や機会の拡充に努めた。</p> <p>コロナ禍の中においても、感染防止対策を徹底することで、多くの事業がコロナ禍以前の規模、方法等で実施することができた。</p> <p>公民館から地域づくり活動センターに移行されても、地域における生涯学習の場の確保と充実に力を入れたい。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	① 生涯を通じた多様な学習機会の提供		
成果指標	設定なし		
担当課	生涯学習課	決算額(千円)	1,764
取組事業	家庭教育支援事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>家庭教育の向上及び、妊娠期・乳幼児期を含む子育てに悩む全ての保護者の支援を進めるため、①定期・予約・出張相談、②情報の提供活動、③学習機会の提供 ④イベント等4つの活動を中心とした事業展開を行う。</p> <p>【実績】</p> <p>①定期・予約相談：4件 ②情報提供活動：子育て応援情報紙（わくわくステーション）3,500部を3回発行し、市内保・幼・小・中・児童館・図書館等に配布 ③学習会の開催：食育、勇気づけのお話会、出前講座を各1回実施 ④イベント：プレママ・ママカフェ（5回実施）、山遊び、トランポリン、木育</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>出前講座では、「親子のコミュニケーションの取り方」をテーマに実施し、ワークショップを通して、保護者同士が意見交換を行うことで「悩んでいるのは自分だけじゃないんだ」という安心感やこれからの育児のヒント・アイデアについて共有できた。講座後のアンケートでは、「他のお母さんと会話が深まるような学習会をしたい」という意見があった。コロナ禍により交流する機会が少ない状況の中で、保護者同士がつながり合い学び合うことがより必要であると感じた。また保護者自らが、学びの場や相談に行くことが困難な家庭など、支援が届きにくい家庭へのアプローチが難しく、今後は、地域へ出向いて行き、地域の方や地域づくり活動センターにも協力いただきながら、保護者が安心して子育てができるよう支援していきたい。</p>		

『家庭教育支援事業活動写真』



【10/29 トランポリンで遊ぼう】



【1/16 出前講座】

(B表)

事務事業等	① 生涯を通じた多様な学習機会の提供		
成果指標	設定なし		
担当課	生涯学習課	決算額(千円)	903
取組事業	成人式開催事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>二十歳を迎えた青年に大人としての自覚と社会的責任を果たすことを促し、ふるさとを愛する心を育むために、祝福・激励の会を開催する(式典、記念行事等)。</p> <p>【実績】</p> <p>令和5年成人式も昨年につき長引くコロナ禍での開催となったが、事前の健康チェックをはじめ、当日は消毒、検温、席指定などの感染防止対策を徹底し開催。記念行事では、成人者から歌の披露があり、会場を盛り上げた。 対象者数 357人(うち、出席者245人)</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>県外から帰省する対象者が多いため、コロナ禍での開催は感染対策の徹底が大きな課題である。今後の状況を注視しながら、開催に向け対策を練る一方、成人者の自主性を重視した新たな式典、記念行事のあり方についても模索したい。</p>		

(A表)

施策	(2) 公民館活動の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	中央公民館及び24の地区公民館で、地域性や住民ニーズに即した事業を実施している。地域に根ざした活動を通して、住民の教養の向上や健康の増進、生活文化の振興等を図り、まちづくりを支える地域人材の育成に寄与している。

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	明浜教育課	決算額（千円）	352
取組事業	明浜教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績課題・今後の方向性	<p>【事業内容】 公民館を生涯学習の拠点として、各種団体や関係機関と連携を深めながら、人づくりと心ふれあう元気な地域づくりを進める。</p> <p>【実績】 明浜教育課及び明浜町内4公民館において、地域の特色を生かした各種講座やイベントを開催。地域や学校と連携した生涯学習活動を幅広く展開した。 ○主な事業 青少年教育 SummerCampアケハマン、英語とダンス教室、俳句大会学生の部 成人教育 山あるきんぐ教室 女性教育 手芸教室（粘土細工、苔玉、ジェルキャンドル、フラワーアレンジメント） 家庭教育 料理教室 文化教育 産業文化祭（展示のみ）、俳句大会一般の部 社会体育 元旦走ろう会、新春駅伝競走大会（雨天中止） 総合教育 門松づくり、しめ縄作り、パソコン教室 高齢者教育 クロッキー教室、スマホ教室 その他 地域づくり組織との協働</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 天候や新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、実施できなかった事業もあったが、キャンプ事業では規模を縮小してのサイクリング教室を実施、感染防止策を講じるなどの工夫をして取り組んだ。地域づくり活動センターへ移行後は、各事業を通常実施に戻しつつ地域ごとの特色を生かして各センターの取組を発展させたい。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	1,993
取組事業	中央公民館・各地区公民館生涯学習事業（宇和地区）		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>全市を対象とした中央公民館生涯学習事業のほか、宇和町内7公民館において実生活に即した学習の場や住民ニーズに応える生涯学習事業を展開する。</p> <p>【実績】</p> <p>各公民館で地域特性や課題を生かした活動を展開し、新たな学習を取り入れた学びの機会を提供しながら、住民のニーズに応える生涯学習活動を実施した。</p> <p>新型コロナウイルス感染状況を注視しつつ、事業を推進したが、集客性の高いイベント型事業については、今年度も多くが中止を余儀なくされた。その一方で、キャンプ事業の本格実施や、通学合宿の再開、各種団体との協働による公民館フェスタなど参加体験型事業の実施や、センター化にむけて、地域づくり団体との協働によるイベント事業の開催も見受けられた。</p> <p>○主な事業</p> <p>青少年教育 キャンプ事業YAEI 上・下三館による交流イベント、通学合宿、愛護班活動、緑の少年団活動、トランポリン・ボルダリング教室、オータムフェスタ</p> <p>成人教育 英会話、各種趣味講座、ふるさと学習会、レクバレー大会、ソフトボール大会、みんなの料理講座</p> <p>女性教育 いきいき学級、壮年会活動</p> <p>ふれあい郵便、スノードームづくり、健康体操教室、各種趣味講座（寄せ植え、料理）、婦人会活動</p> <p>家庭教育 ときめきチョコレートづくり、保育園クリスマスイベント・トランポリン体験</p> <p>高齢者教育 料理教室、さわやか健康大学、スマホ教室、スポーツ大会（クロッケー・Gゴルフ）</p> <p>人権・同和教育 校区別人権の集い、指導者研修会、草の根学習会</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>今後も、職員の資質向上を図ると共に、地域づくり組織やセンター運営委員、各種団体と連携し、地域に必要な学習ニーズの把握に努めていく。学びへの参加のきっかけとなるよう、楽しさをベースとした学習活動、関心の高い学びの企画など参加者を呼び込む工夫が必要である。また多様な主体との連携や協働を推進し、熱意のある人材を巻き込みながら、人づくり・つながりづくり・地域づくりにつながる取組を推進する必要がある。まだ暫くは、新型コロナウイルス感染症への配慮が必要であるが、感染症の状況も踏まえ、事業内容の点検や見直しにより、開催に向けた前向きな取組が必要である。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	野村教育課	決算額（千円）	1,697
取組事業	野村教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 全町を対象とした野村教育課生涯学習事業のほか、野村町内6公民館では地域住民の社会教育・生涯学習活動の拠点として地域コミュニティづくりを推進するとともに、関係機関・団体との連携を深め、地域の特色を生かした活力ある地域づくりに努める。また、それぞれの地区の今後を見据えた災害に強い地域活動を進める。</p> <p>【実績】 住民の教養の向上、健康の増進をはじめ、地域活性化を目的としたイベントや各種講座を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、四国西予朝霧湖マラソン大会やサイクリングIN四国西予ジオパーク、文化祭等は中止となったが、感染対策を徹底することで開催できた事業もあり、地域のつながり、連帯感の醸成を図ることができた。青少年教育では、各地区単位で通学合宿を開催し、自主性、協調性、自立性を養うことができた。 また、全地区館で公民館報を発刊し、地区内の話題提供と情報発信に努めた。</p> <p>○主な事業 家庭教育 料理教室、門松づくり、しめ縄づくり体験 青少年教育 農業体験、通学合宿（5地区館） 成人教育 ドローン講習会、心肺蘇生、箱罌作成講習 女性教育 料理教室、ヨガ教室、生け花教室 高齢者教育 クロッケー、ボッチャ交流会、スマホ教室 人権教育 各地区人権学習会 社会体育 野村支部体育祭、乙亥大相撲、野村町駅伝競走大会 文化教育 土居家皐月お茶会、映画鑑賞会、写真コンテスト 総合教育 イルミネーション事業、さくら祭り、川まつり 大門松事業、花火大会</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 令和5年度からは地域づくり活動センターへ移行するにあたり、持続可能な地域づくりに挑戦し、スクラップアンドビルドを繰り返しながら、事業を推進していきたい。併せて、これまで感染症等で規模縮小を余儀なくされていた各種講座やイベントについて、地域と連携して活動を充実させていきたい。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	城川教育課	決算額（千円）	434
取組事業	城川教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 市民を対象に公民館が住民ニーズに合わせた講座やイベント等を実施し、各地区の特色を生かした社会教育事業を展開する。幅広い世代の生きがいや健康づくりの場とすることと併せて、地域活性化への取組を進める。</p> <p>【実績】 町内4公民館において、地域の特色を生かした各種講座やイベントを開催し、各種団体、地域、学校と連携した生涯学習活動を展開してきた。 今年も新型コロナウイルス感染症の影響により、盆踊り花火大会や城川オリンピックなどの大きなイベントが中止になったが、奥伊予ふるさと祭りやしろかわっ子夢大賞など、参加者の多いイベントではあるが、規模を縮小し感染対策を十分に講じて事業を開催することができた。</p> <p>○主な事業 家庭教育 三世代交流会、門松づくり 青少年教育 自転車通学点検、どんど焼き、しろかわっ子夢大賞、サマーチャレンジ、愛護班活動、クリスマス会 成人教育 地域奉仕作業、環境美化活動、夜市、夕涼み会 女性教育 生花教室、料理教室、奉仕作業、1日研修、ふるさと祭出展、健康教室、婦人学級、スポーツ交流会 高齢者教育 クロッカー大会、清掃活動、門松づくり、高齢者料理教室、花いっぱい運動、しめ縄づくり、スマートフォン活用講座 人権教育 地区別人権懇談会 文化教育 納涼花火大会、笹ミネーション 総合教育 地域づくり事業、防災訓練、公民館だより、トマト収穫体験、桃まつり、社会教育セミナー</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 今年も新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、感染対策の徹底や手法の工夫、時期を調整することで対応できた。各地区とも地域づくり組織と連携して、ふるさとを活性化するために事業を展開した。 令和5年度からは地域づくり活動センターとして、活動の幅を広げ、より住民が関心を持ち積極的に参加できるよう運営を行っていかなければならない。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	1,352
取組事業	三瓶教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>公民館を生涯学習の拠点として、住民が自発的・主体的に活動できるように育成・援助しながら取組を進める。小学校の統廃合以降、3地区公民館が協力し連携を図りながら、イベント及び講座事業を実施している。</p> <p>【実績】</p> <p>新規事業の実施や、既存事業は内容の見直しを行いながら取組を行った。事業の告知など、SNSによる情報発信を進めており、これまで参加が少なかった若年・壮年層の受講や参加が増えつつある。</p> <p>○主な事業</p> <p>青少年教育 子ども体操教室、アドベンチャー三瓶、農業体験学習、コミックアート教室、書初め大会、チアダンス教室</p> <p>成人・女性教育 料理教室、干支押絵づくり、陶芸教室、多肉植物教室、なんでもセミナー、投資入門セミナー</p> <p>社会体育 レクバレー大会、健康ウォーク、モルック体験</p> <p>高齢者教育 デジタル活用支援推進事業、クロッケー大会、健康教室</p> <p>各種展示会 手作り作品展、年賀はがきコンクール</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>社会経済活動と感染対策の両立を図る「ウィズコロナ」が浸透し、事業は開催されるものの、参加希望者が感染（もしくは濃厚接触者）により、事業に参加できないことが相次いだ。このような事業は、再度実施するなど、参加希望者の学習意欲の向上を支援したい。数年ぶりに開催できた事業でも、参加者の高齢化など、これまで通りの方法では、継続が難しい事業も散見されるようになり、今後は、事業の実施方法などを見直しながら、生涯学習の推進を図る。</p>		

(C表)

成果指標	公民館運営審議会開催回数		
達成状況	C：未達成		
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増減
平成30年度	令和5年度	令和4年度	(B) - (A)
2.3	3.0	1.9	△0.4
分析・評価	<p>センター化を翌年に控えることもあって、5年度に向けての計画の検討など、やや上向いてきている。センターに運営委員会が設置されるにあたっては、これまで同様に、実施計画と事業の振り返りのほか、中間期にも開催を促し、次年度への事業の改善・反映などに取り組むよう努める。</p>		

『中央公民館・各地区公民館生涯学習事業(宇和地区)』



【8/1~4 YAEI CAMP in MIKAME】



【11/4 オータムフェスタ(宇和公民館)】

(B表)

事務事業等	② 社会教育関係団体への支援と連携		
成果指標	設定なし		
担当課	生涯学習課	決算額(千円)	5,978
取組事業	社会教育団体育成事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 社会教育団体の育成・支援のため、運営経費の一部を補助として交付する。</p> <p>【実績】 PTA、愛護班、女性団体連絡協議会、壮年会、婦人会、ボーイスカウト、西予国際交流協会、青年団、野村ふるさとづくりの会の計9団体に補助金を交付した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響が少なからずあったものの、感染防止対策を万全にしたうえでイベントを実施するなど、コロナ禍以前のような活動状況に戻りつつある。 どの団体においても会員の減少や高齢化、活動のマンネリ化などが問題となっている。団体活動内容を周りに幅広く知ってもらい新規会員を増やすとともに、WITHコロナ社会の中でも効果的な団体活動の運営方法や活動の在り方などを団体に指導するよう努める。</p>		

(A表)

施策	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成
評価	やや遅れている
評価に対する分析	<p>市内70人の補導員により、街頭補導活動、イベントや祭礼時の移動補導センターの開設の活動を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で実施回数は例年より減少したが、実施の際には精力的な活動が行われている。</p> <p>近年、スマートフォンの普及により、インターネットやSNSでの被害が増加している。学校や警察と連携を行い、課題解決に取り組みたい。</p> <p>引き続き「見せる非行防止」として補導活動を実施するとともに、青少年問題の情報収集、補導員への周知、指導に努めたい。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	① 青少年健全育成体制の強化		
成果指標	設定あり（街頭補導回数） 設定あり（移動補導センター回数）		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	995
取組事業	青少年補導センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>青少年補導員が定期的な街頭補導活動を行い、各地区のお祭りや行事等で移動補導センターを開設するなど、青少年への声かけ・指導を実施していく。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街頭補導 101回 ・出動補導員数 延べ 343人 ・移動補導センター開設 8回 ・声かけ指導した少年数 0人 <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>依然としてコロナ禍ではあったが社会にウィズコロナが浸透したことで中止が続いていた各種イベントが実施され、そのイベントにおいて移動補導センターを開設することができ青少年の非行、被害防止にと努めることができた。</p> <p>来年度には、新型コロナウイルス感染症が五類に引き下がる予定となっている。積極的に街頭補導やイベント時の移動補導センターに参加いただく環境づくりをしていきたい。</p>		

(C表)

成 果 指 標	街頭補導回数			
達 成 状 況	C：達成に向けて予定よりやや遅れている			
基準値 (A)	目 標 値	実績値 (B)	増	減
平成30年度	令和5年	令和4年度	(B) - (A)	
102	130	101	△ 1	
分 析 ・ 評 価	新型コロナウイルス感染症の影響により、補導活動を自粛した期間があったため、目標値に届かなかった。			

(C表)

成 果 指 標	移動補導センター回数			
達 成 状 況	C：達成に向けて予定よりやや遅れている			
基準値 (A)	目 標 値	実績値 (B)	増	減
平成30年度	令和5年	令和4年度	(B) - (A)	
13	20	8	△ 5	
分 析 ・ 評 価	新型コロナウイルス感染症の影響で各種イベントが多数中止となった。しかし、開催されたイベントでは移動補導センターを設置し、青少年の非行や問題行動を未然に防ぐことができた。			

(A表)

施策	(5) 図書館活動の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>新型コロナウイルスの感染拡大が3年目に突入した。依然、市民の利用自粛ムードが続いていたが、年明けから落ち着きを見せ始め、来館者数は（市内全館で）令和3年度と比較して増加に転じてきている。各地域に分館があることで、移動手段の無い高齢者、子どもにとって身近な図書館サービスの提供ができています。そうした教育・生涯学習機関としての図書館を基盤として、今後一層市民生活をサポートし、地域づくりに貢献するため図書館機能を高めていく。なお、自館だけでは調達、解決できない資料提供やレファレンスサービスには、全国の図書館ネットワークを活用し、要望に応じている。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	① 読書活動の普及啓発		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数））		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	406
取組事業	ブックスタート事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>0歳児（4カ月児）健診の機会に絵本をプレゼントする事業である。乳児と保護者が、絵本を介して心触れ合う時間を持つきっかけをつくる。重ねて、3歳児健診時にも絵本（5種類の中から1冊）をプレゼント。</p> <p>また、小学1年生には「1年生のほんだな」として推薦図書を紹介したチラシを配布、読書習慣がつくよう継続的に実施する。</p> <p>【実績】</p> <p>関係各課の協力を得て、0歳児及び3歳児に対して漏れなく事業を実施できた。0歳児:164人、3歳児:208人。 小学1年生は各学校を通じて全員にチラシを配布した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>関係課（健康づくり推進課、支所生活福祉課、学校教育課）との連携により育児支援、家庭教育支援につながっている。豊かな情操を育む読書生活のスタートとなる大切な事業である。子ども読書推進計画に沿って読み聞かせ活動の充実、ボランティア団体の連携・育成を図り多角的に同事業をフォローする。</p>		

(B表)

事務事業等	② 図書館サービスの充実		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数））		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	2,466
取組事業	図書館電算システム管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>図書館システムを活用し、データ作成と検索の利便性向上、カウンター業務の効率化を図り、利用者に対する種々のサポート体制の強化に努める。また、社会教育の機関として教育・研究活動の支援、読書人口の増加という目的達成につなげる。</p> <p>【実績】</p> <p>図書館システムと連動したOPAC（OPAC：オンラインパブリックアクセスカタログ；OPAC：オンライン蔵書目録）のアクセス数【館内OPAC→自動検索機】【WEBOPAC利用】【携帯電話・スマートフォンOPAC】は令和3年度の1,151,075件から764,012件へ減少に転じたが、オンライン予約者は増加傾向にあり、利用者にとって必要不可欠な環境となっている。またシステムの存在は業務運営面で貢献度が高い。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>まなびあんで導入している資料のIC化、自動貸出機、自動検索機の設置が、利用者の利便性を高めている。これらの図書館システムを使ったサービス業務や閲覧を行う利用者の増加は、図書館が身近なものであるとの意識が高まった証拠でもある。今後は、安全性と確実性を考慮して現在のオンプレ型から図書館システムのクラウド化を早期に実現する。そして、図書館システムと連携した図書館ホームページの充実により、さらなる情報発信、情報提供に努め、来館促進につなげていく。</p>		

(C表)

成果指標	利用者数（図書を借りた人数）		
達成状況	B：概ね達成		
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増減
平成30年度	令和5年度	令和4年度	(B) - (A)
41,571	49,000	44,334	2,763
分析・評価	<p>新型コロナウイルス感染拡大で、依然、市民の利用自粛ムードが続き利用者数は横ばい傾向であった。しかし、年明けから落ち着きを見せ始めたことと、利用者からの要望に応え令和5年度から開館時刻を1時間繰り上げること、また子育て応援対策として貸館の一室を活用した子どもスペース拡充に取り組むことで、今後より多くの市民の利用が期待される。</p>		

重点目標 3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(A表)

施策	(1) 文化財の保護と活用
評価	順調
評価に対する分析	<p>新型コロナウイルス感染症の流行下ながら、指定文化財や茶堂の修理、文化的景観の重要な構成要素の修理工事、香川大学主催の茅葺き講座等が実施され、順調に文化財の保護と活用が図られている。また、文化財保存活用地域計画についても、協議会での議論を踏まえつつ作成が進んでいる。小森古墳では、前方部南側の墳裾の一端を捉えることができた。</p> <p>引き続き文化財の保護と活用を計画的に進めるとともに、防災意識の向上にも努めたい。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（保護されている指定文化財の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	3,810
取組事業	文化財保護推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市内に所在する文化財の価値を洗い出し、市文化財保護審議会の意見をもとに指定したうえで、保存修理や防災防犯対策を講じることで適切に保存する。あわせて講演会等を通じて文化財の価値を広く市民と共有するほか、文化財の活用を図ることで、市民の文化的向上に資する。</p> <p>【実績】</p> <p>客人神社社叢（市指定・宮野浦）の枝打ち・伐採等に対して補助金を支出した。茶堂は、沖の堂茶堂（田穂）の茅葺き替えに補助金を支出したほか、香川大学主催の茅葺き屋根の葺き方講座による西上茶堂（惣川）の茅葺き替えが行われた。</p> <p>改正文化財保護法で新たに制度化された文化財保存活用地域計画について、協議会を設置し文化庁の意見も聴きつつ計画を作成中である。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>文化財保存活用地域計画の作成に取り組むほか、指定文化財の保存修理等の支援、茶堂の維持管理、明浜歴史民俗資料館の展示の見直しなどに取り組む。</p>		

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（保護されている指定文化財の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	11,660
取組事業	文化的景観保護推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>重要文化的景観「宇和海狩浜の段畑と農漁村景観」の本質的価値を地域で共有し、文化財保護法や関係法令等にもとづく制度を活用して価値を守り次世代へ継承するとともに、これをまちづくりに活かす。</p> <p>令和4年度は、西予市文化的景観保護審議会における議論をもとに令和元年度に策定した整備計画に基づき、景観を構成する重要な構成要素等の修理・復旧、修景を進める。</p> <p>【実績】</p> <p>①文化的景観保護審議会（2回：9月、3月）</p> <p>②重要な構成要素（主屋）修理工事 1件</p> <p>③重要な構成要素（オリヤ養蚕）修理工事 1件</p> <p>④重要な構成要素（春日神社本殿）調査・設計 1件</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>景観の重要な構成要素である主屋1件とオリヤ養蚕1件の修理工事により、狩浜の生活史を知る上で欠くことのできない建物の価値を保存・継承することができ、文化的景観の本質的な価値の保護につなげることができた。</p> <p>令和5年度は春日神社本殿の修理工事を実施し、引き続き景観の価値を保護していく。また、誘導サイン整備に向けたワークショップを実施し、文化的景観に対する普及啓発活動を進める。</p>		

『文化財保護推進事業活動写真』



【西上茶堂(葺き替え後)】



【K家オリヤ養蚕(重要文化的景観、修理後)】

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（保護されている指定文化財の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	1,946
取組事業	埋蔵文化財発掘調査事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市内遺跡詳細分布調査（国庫補助事業）により埋蔵文化財包蔵地の把握と周知に努め、埋蔵文化財保護の基盤を整備し、開発への対応を行う。西予市の重要遺跡について、保存と内容把握を目的とする試掘確認調査を行い、史跡指定を目指す。加えて、市内採集遺物の整理作業を進める。</p> <p>また、「四国八十八か所霊場と遍路道」の世界遺産化の動きの中で、歴史の道の調査を行い国史跡の指定を目指す。</p> <p>【実績】</p> <p>前方後円墳である小森古墳（宇和町山田）とムカイ山古墳（宇和町杵所）を重要遺跡として位置付け、調査を実施した。小森古墳では、前方部の試掘確認調査を実施し、南西隅の墳裾を確認した。ムカイ山古墳では、後円部墳頂部で清掃を実施し、墓壙とみられる層を検出した。</p> <p>歴史の道調査では、大寶寺道（宇和町久保）について、文化庁に史跡指定の意見具申を行った。</p> <p>整理作業では、上記遺物の他、市内採集遺物の整理を行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>小森古墳の南側の墳裾の確定に目途をつけることができ、ムカイ山古墳でも墳丘構造の一端を掴むことができた。</p> <p>今後も分布調査を継続しつつ、重要遺跡の調査に重点を置いて継続的に調査を行い、史跡指定を目指す。歴史の道調査では、宇和島街道鳥坂峠越（宇和町久保）が史跡指定される予定である。</p>		

(C表)

成果指標	保護されている指定文化財の割合			
達成状況	A：達成済			
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増	減
平成30年度	令和5年度	令和4年度	（B）－（A）	
100%	100%	100%	0.0%	
分析・評価	<p>指定文化財の滅失等はなく、順調に保存修理が進められている。令和2年度から西予市文化財保存活用地域計画を作成中であり、令和5年度の国の承認を目指し作業を進めている。</p>			

『埋蔵文化財発掘調査事業活動写真』



【小森古墳前方部南西隅試掘確認調査】



【ムカイ山古墳墳頂部清掃】

(B表)

事務事業等	② 文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定なし		
担当課	明浜教育課	決算額(千円)	96
取組事業	文楽保存伝承活動事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 愛媛県指定無形民俗文化財である俵津文楽の保存伝承活動の支援。</p> <p>【実績】</p> <p>○過去の文楽公演映像公開(俵津地区文化作品展示会:2/11~2/12) ○第35回野福峠さくら祭り文楽公演(3/26)</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 県の無形民俗文化財に指定されている俵津文楽は嘉永5年(1852)に浄瑠璃による人形芝居を若者に習わせたことに始まった。この文楽が町内にあることで地域の活性化が図られている。地域や座員も伝統文化の保存伝承に対する意識が根付いているが、座員は高齢化しつつあるため、新規座員の確保が喫緊の課題である。伝統文化保存伝承のため、引き続き事業を継続していく必要がある。</p>		

(B表)

事務事業等	② 文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定なし		
担当課	三瓶教育課	決算額(千円)	12
取組事業	文楽保存伝承活動事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 愛媛県指定無形民俗文化財である朝日文楽の保存伝承活動事業。こども朝日文楽クラブの会員を募集し、月2回程度練習を行って後継者育成を図る。</p> <p>【実績】 例年、朝日文楽伝承定期公演(9月)、三瓶町文化祭(10月)、また、町内老人福祉施設を訪問(3月)し、公演を行い練習の成果を発表している。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため全て中止。開講式、練習1回のみにより修了式を迎える結果となった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 こども朝日文楽クラブで教えを受けた児童、生徒が、将来朝日文楽のメンバーとして文楽を受け継ぐような体制づくりが求められる。組織体制の強化及びサポート体制の構築を実現するため、朝日文楽の披露の場を増やし、保存会員の確保を図るとともに、後継者の育成が必要である。本事業は後世への保存伝承であり重要である。三瓶町内の小中学生が減少する中、文楽を楽しく思える会員数を確保していく必要がある。</p>		

(A表)

施策	(2) 文化の振興
評価	やや遅れている
評価に対する分析	新型コロナウイルス感染症の流行により、各町の文化祭、芸能祭、宮中雲子音楽祭等のイベントなど、大半の事業が中止となった。実施できた事業には、愛媛国際映画祭、全国かまぼこ板の絵展覧会、奥伊予ふるさと祭りがある。全体として、文化の振興のペースは鈍化している状態である。今後は、感染状況を踏まえつつ、各事業において開催可能な方法を検討していく必要がある。

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（文化祭等参加団体数及び文化会館利用者数）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	1,200
取組事業	文化振興事業（愛媛国際映画祭）		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>優れた映像作品に接する機会を創出し、文化・芸術活動の理解促進、交流人口の拡大、地域の活性化につなげることを目的として、愛媛国際映画祭（主催 愛媛国際映画祭実行委員会）に参加し、映画の上映会および映画・映像関連イベントを実施する。</p> <p>【実績】</p> <p>10月8日（土）に、西予市朝立会館で愛媛国際映画祭を実施した。映画祭では『アイの歌声を聴かせて』『コーダ あいのうた』の2作品を上映し、延べ156名の来場者があった。当日は、高音質上映を実施し、県外からの来場者もあった。また来場者への記念品として「シトラス飲むゼリー」と「こどもケチャップ」を渡し、多くの方に喜んでいただけた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>愛媛国際映画祭の課題として毎年開催による準備期間の不足、財源確保も困難であり、令和5年度は開催しない予定である。</p> <p>今後の対応としては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが緩和されたため、西予市の文化祭・芸能祭に力を入れていきたい。</p>		

『文化振興事業(愛媛国際映画祭)』



【上映会の様子】



【記念品配布の様子】

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（文化祭等参加団体数及び文化会館利用者数）		
担当課	城川教育課	決算額（千円）	13,242
取組事業	全国かまぼこ板の絵展覧会事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 平成7年度から毎年実施している。全国「かまぼこ板の絵」展覧会開催のため、かまぼこ板に描いた絵を全国へ公募し、応募のあった作品の中から入選作品193点を選考のうえ、応募作品はすべて展示する展覧会。</p> <p>【実績】 今回の第27回展覧会は、第26回展覧会の会期を1ヶ月延長して1月まで実施したため、募集期間を例年の2月から3月へと変更して令和4年3月1日から同年4月30日まで全国公募を行った。全都道府県及び海外から応募のあった6,148点（11,065枚）全ての作品を7月23日から12月4日まで展示した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 コロナ禍において、令和3年度以降は入館者数が戻っている傾向がある。応募者数については一定のファン層はあるものの、少子高齢化や人口減少・マンネリ化等による応募数の自然減が生じているものと推測する。チラシ発送だけでなく、HPやフェイスブック等を活用したSNS利用の周知は行っているが、新規応募者確保に向けたPR手法を検討する課題がある。</p>		



募集チラシ



展覧会チラシ

(C表)

成果指標	文化祭等参加団体数及び文化会館利用者数		
達成状況	C：未達成		
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増減
平成30年度	令和5年度	令和4年度	(B) - (A)
団体数：145団体 利用者数：75,959人	団体数：145団体 利用者数：80,000人	団体数：0 利用者数：37,566人	△ 145 △ 38,393
分析・評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、文化祭や芸能発表会等の大半が中止、文化会館施設利用者もコロナ禍前に比べ大きく減少した。なおかつ、宇和文化会館が舞台の大規模改修に着手し、大ホールの利用を停止していることも大きな要因である。</p>		

(A表)

施策	(3) 文化活動の環境と基盤の整備
評価	概ね順調
評価に対する分析	市内2つの文化会館は共に平成2、3年度に開館し老朽化が著しい。令和3年度、宇和文化会館では舞台機構の改修に向けた大規模改修の5期計画を作成した。令和4年度から改修を始め令和8年度末に完了予定である。利用者が安心して文化活動に取り組むことができる環境づくりに努めるため、緊急性の高い箇所から改修する計画で整備を進めていく必要がある。

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	① 文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（各施設の入館者数）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	83,622
取組事業	宇和文化会館管理運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>平成3年12月に開館後、財団法人宇和文化会館が管理受託、平成18度からの指定管理者制度移行後も、同法人が引き続き（平成24年度途中に一般財団法人に移行）管理している。この指定管理者に対して、文化会館管理運営委託料を支出するものである。</p> <p>【実績】</p> <p>舞台機構の大規模改修計画を策定し、計画初年度となる令和4年度から舞台吊物設備の改修に着手しており、令和5年度まで2カ年の継続事業で進めている。今後も利用者が安心して文化活動に取り組むことができる環境づくりに努めるための改修計画で整備を進めていく。</p> <p>令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなか、来館者及び定期利用者の方々に感染症拡大防止対策を徹底し、安心して利用できる環境整備に努めた。その結果、自主事業で予定していた3事業すべての事業を実施することができた。また、共催事業については、計画していた6事業を大きく上回る9事業を実施。三瓶文化会館では4年ぶりに自主事業を実施することができた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>建設から32年が経過し、施設・設備とも老朽化が進むため、緊急性の高いものから計画的に改修や更新を進める必要がある。利用者の安全安心を確保しながら市民が文化に触れる機会の増加につなげたい。</p> <p>基本的な感染防止対策や衛生管理に努め、安心して利用いただける環境を整えたい。</p>		

(B表)

事務事業等	① 文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（各施設の入館者数）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	17,834
取組事業	三瓶文化会館管理運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 三瓶文化会館の維持管理及び運営を行う。施設利用は予め1週間前までに申請書を提出後、教育委員会の許可を受け利用する。最長半年先まで申請可能。利用料金(減免含む)は、西予市三瓶文化会館条例第10条に規定されている。 開館時間 午前9時00分から午後10時00分まで 休館日 12月28日から翌年1月4日まで</p> <p>【実績】 令和4年度利用実績は延べ約15,000人で、文化活動、生涯学習教室、各種イベント、図書館、プラネタリウム等多数の市民に利用いただいた。コロナウィルスの感染拡大予防を行い、貸館業務も徐々にコロナ前に戻りつつある。 また、自主イベント「伊沢卓志講演会」実施。577人の集客があった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 平成3年の開館以降、年々利用者は減少傾向にあるが、修繕など維持経費が増加傾向にある。今後貸館を停止するような緊急事態の無いよう計画的に優先順位をつけ修繕等を行い、多くの市民に利用いただけるよう努める。</p>		

(C表)

成果指標	各施設の入館者数			
達成状況	C：未達成			
基準値(A)	目標値	実績値(B)	増	減
平成30年度	令和5年度	令和4年度	(B) - (A)	
111,764	112,000	37,566	△ 74,198	
分析・評価	<p>新型コロナウイルス感染症長期化の影響を受け、施設の利用者数はコロナ禍前に比べ大きく減少した。なおかつ、宇和文化会館が舞台の大規模改修に着手し、大ホールの利用を停止していることも大きな要因である。</p> <p>基本的な感染防止対策や衛生管理に努め、計画的な施設設備の改修及び備品更新による、安心安全の確保を引き続き図っていく必要がある。</p>			

重点目標 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

(A表)

施 策	(1) スポーツの普及・推進
評 価	概ね順調
評 価 に 対 する 分 析	<p>新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの参加者が少ない傾向にあったが、スポーツ協会やスポーツ推進委員協議会、スポーツクラブと連携し、スポーツイベントを開催することで、市民がスポーツに親しむことのできる機会の増加を図ることができた。今後も、市民がスポーツに親しむことで、相互の親睦・交流を深め、健康・体力の保持増進につなげたい。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定なし		
担 当 課	スポーツ・文化課	決算額 (千円)	150
取 組 事 業	総合型地域スポーツクラブ補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 西予市総合型地域スポーツクラブ育成振興補助金交付要綱に基づき、総合型地域スポーツクラブ活動支援のため補助金を交付する。</p> <p>【実績】 令和4年度実績は以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ・みかめスポーツクラブ 50千円 ・のむらスポーツクラブ 50千円 ・文化の里スポーツクラブ 50千円 </p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 各クラブの魅力ある事業の支援及び広報せいや市HPでの紹介などの情報発信を通じてクラブ会員の増加を目指すとともに、市民の健康増進に向けてのきっかけづくりが進んでいる。 今後も、次世代を担う青少年の体力向上及び人格形成、地域交流を促進し、体育振興に大きな役割を果たす総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。</p>		

『総合型地域スポーツクラブ補助事業活動写真』



のむらスポーツクラブ フリーウォーキング教室



みかめスポーツクラブ バレーボール教室

(B表)

事務事業等	② スポーツ施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（社会体育施設年間利用者数）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	22,503
取組事業	体育施設維持管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 多くの市民が施設を利用することにより、西予市におけるスポーツの推進を図るとともに、市民の健康増進及び体力向上に資するため、市内の社会体育施設及び学校開放施設の維持管理を行う。</p> <p>【実績】 社会教育（体育）施設の利用者数（利用回数） 明浜地区 6,671人 宇和地区 80,860人 野村地区 56,806人 城川地区 4,896人 三瓶地区 31,676人</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 西予市におけるスポーツの推進を図るとともに、市民の健康増進及び体力向上に資するため、市内の社会体育施設及び学校開放施設の維持管理は必要である。</p>		

(C表)

成果指標	社会体育施設年間利用者数		
達成状況	A：達成済		
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増 減
平成30年度	令和5年度	令和4年度	(B) - (A)
162,039人	163,000人	180,909人	18,870
分析・評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き始め、スポーツを再開する団体等が増えてきたこと、各種イベントも通常どおり開催されたことにより、施設利用者が増え、目標値を達成することができた。今後も利用者が安心安全に利用できるよう、施設の維持管理に努めていきたい。</p>		

学識経験者の意見及び西予市教育委員会の今後の取組の方向性

1 「生きる力」を育む学校教育の推進

(1) 確かな学力の育成

【学識経験者の意見】

(小学校情報教育振興事業)

(中学校情報教育振興事業)

GIGA スクール構想に基づき ICT 機器が導入されている。教員が ICT 機器の活用能力を習得し、児童・生徒の学力向上のため、機器を有効に活用し、さらなる教育の質の向上が必要だと考えている。そこで ICT 機器に堪能な教員に負担が増えないよう ICT 支援員配置など ICT の有効的な活用に取り組んでもらいたい。

今後の取組の方向性

(小学校情報教育振興事業)

(中学校情報教育振興事業)

ICT 支援員の配置により、教職員の機器の活用能力も徐々に向上している。授業での活用も進んでおり、児童・生徒の ICT 活用能力も高まっており、今後も教職員のスキルアップに関して効果的な方法を提供していきたい。また、児童・生徒の端末の持ち帰り学習もより効果的になるよう、市内全体の状況を把握しながら改善策を検討していきたい。

(5) 特別支援教育の推進

【学識経験者の意見】

(小学校生活支援員設置事業)

(中学校生活支援員設置事業)

市内の小・中学校で学校生活に支援が必要な児童・生徒には、生活支援員を配置し、充実した学校生活を送れるよう適切な支援に努めていると思うが、生活支援員の配置数は、支援が必要な児童・生徒に対して足りているのか不足しているのかお聞きしたい。今後も支援が必要な児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう支援員の配置を継続していけるようお願いしたい。

今後の取組の方向性

(小学校生活支援員設置事業)

(中学校生活支援員設置事業)

発達障害の理解も進み、生活支援員の配置を希望する保護者数は増えてきている。しかし、児童・生徒の障がいの特性は様々であり、一概に生活支援員の数を増やすことが適切な支援につながるとは言えない場合もある。児童・生徒が安心して学校生活を送れるために、研修をとおして生活支援員一人一人のスキルアップを図ることに取り組んでいきたい。また、支援員の配置についても児童・生徒の特性に合わせた効果的な運用ができるよう具体的な方策を示していきたい。

2 ライフステージに応じた社会教育の推進

(1) 生涯学習の推進

【学識経験者の意見】

(家庭教育支援事業)

ワークショップやプレママ・ママカフェを通して、保護者同士で意見交換を行うことで、同じ悩みや不安を打ち明けられる機会を持つことは非常によいことだと思う。今後も保護者同士がつながり学び合う機会の継続をお願いしたい。

今後の取組の方向性

(家庭教育支援事業)

今年から各地区へ出向いての子育て交流サロンを実施している。また、各イベントを通して子育てに関する悩みを参加者で共有し、相談しあえる環境づくりに努めている。とても意義のある大切な事業であり、このような集いに参加ができない方に対して、どのようにアプローチしていくのかが一つの課題であると考えている。

(5) 図書館活動の推進

【学識経験者の意見】

(ブックスタート事業)

(図書館電算システム管理事業)

図書交流館まなびあんの蔵書など徐々に充実してきている。また、交流施設(貸館)利用者も徐々に増えてきている。交流施設(貸館)利用者が図書館を利用したり、ギャラリーの展示物を見学に来られた方が図書館を利用するなど、図書交流館本来の目的に近づいてきていると感じている。さらなる図書館の蔵書などの充実をお願いしたい。

今後の取組の方向性

(ブックスタート事業)

(図書館電算システム管理事業)

市民の生涯学習の拠点施設として、市民の教養、調査、研究等のための蔵書管理と資料収集を行い、学習の場を提供していく。また、多世代の市民交流の促進とコミュニティ活動の活性化につながる集いの場として利用いただくよう努めていきたい。

ブックスタート事業については、幼少期からの本とのつながりを持つ機会を提供できる大切な事業と認識している。活字を読み込むことで得られる想像力が人間形成にはとても大切だと考えており読書推進の一助になればと思う。

3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(1) 文化財の保護と活用

【学識経験者の意見】

(文化財保護推進事業)

(文化的景観保護推進事業)

(埋蔵文化財発掘調査事業)

今後も文化財の保護や発掘調査などの継続をお願いしたい。また、文化財の活用を図ることで市民の文化的向上に努めてもらいたい。

今後の取組の方向性

(文化財保護推進事業)

(文化的景観保護推進事業)

(埋蔵文化財発掘調査事業)

令和2年度から着手した「西予市文化財保存活用地域計画」は、今年12月に文化庁に認定される予定である。計画は令和6年度からの10年計画で、西予市の概要や文化財と歴史を踏まえた特徴を抽出し、文化財の保存と活用に関するアクションプランを明記している。令和6年度からは協議会を設置し進捗管理や計画の内容について意見をいただきながら西予市の文化財行政を推進していきたい。

埋蔵文化財に関しては小森古墳、ムカイ山古墳を重要遺跡として継続して発掘調査を進めている。既に調査済みの笠置峠古墳も含め、県下で前方後円墳が3基現存する地域は大変貴重であり、これら古墳の価値を明らかにして古代のロマンを伝えていきたいと思う。

文化的景観に関しては、明浜町狩浜の「宇和海狩浜の段畑と農漁村景観」が平成31年2月に国の重要文化的景観に選定されている。これまで整備計画に基づいて、重要な構成要素の修理を進めており、今後は更に文化的景観の価値を高めるために、景観を巡るコースの選定と誘導サインの設置に向けて定期的にワークショップを開催するなど機運を高めていきたい。



西予市教育委員会

〒797-8501 西予市宇和町卯之町三丁目 434 番地 1

Tel : 0894-62-6430 (教育総務課) Fax : 0894-62-1115

E-mail : kyouikusoumu@city.seiyo.ehime.jp